

授業科目名・形態	ソーシャルワーク演習Ⅳ 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志・藤田博章・平林朋子・海老澤圭視	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。

【到達目標】

- 1) 地域社会におけるソーシャルワーカーの機能と役割について説明できる。
- 2) 地域ニーズの把握の方法と実際について理解する。
- 3) 地域活動計画書を策定する過程を通して、計画の目的や意義を明らかにし、地域福祉の展開方法を説明できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション（地域福祉を推進する機関・組織）
- 第2回 地域福祉計画の策定に関する相談援助演習
- 第3回 地域におけるサービス提供に関する相談援助演習
- 第4回 地域におけるネットワークに関する相談援助演習
- 第5回 地域における権利擁護活動に関する相談援助演習
- 第6回 地域ニーズの把握の方法（調査方法等および社会資源の把握、活用、調整、開発）
- 第7回 地域ニーズの把握の実際（住民参加と組織化活動）
- 第8回 ソーシャルアクションに関する相談援助演習
- 第9回 アウトリーチに関する相談援助演習
- 第10回 フィールド・リサーチ
- 第11回 調査概要書の作成（リサーチ結果のまとめ）
- 第12回 地域活動計画書の作成
- 第13回 地域活動計画書の作成
- 第14回 発表会
- 第15回 発表会、振り返り

【授業実施方法】

基本的には演習形式とする。本演習はプロジェクターを用いた視聴覚プレゼンテーション、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を行う参加型授業形態で実施する。

【授業準備】

関連する科目で学んだ講義内容を再確認しておくこと。

【主な関連する科目】

ソーシャルワーク論、ソーシャルワーク演習

【教科書等】

最新 社会福祉士養成講座7 ソーシャルワーク演習（社会専門）中央法規出版 2021 年版

【参考文献】

授業中にその都度紹介する。

【成績評価方法】

授業態度 10%、提出物 60%、事例発表等 30%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設で生活相談員として相談業務を経験してきた。相談援助の経験を活かし、その人らしい生活ができるように必要な福祉サービスのあり方を伝えたい。

【学生へのメッセージ】

本演習は参加型授業形式です。グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、事前に指示された課題への取り組み等、積極的に参加してほしい。